佐藤　峰樹　議員

■地域共生社会の実現に向けて

Q 社会福祉協議会各支部が地域主体により策定した住民福祉活動計画を、どのように評価し協働で推進していく考えなのか伺う。

A 社会福祉協議会10支部が2年の歳月を費やして策定した住民福祉活動計画は、それぞれの地域が抱える課題や将来のビジョン等が見える化され、既に企画委員会で検証が始まっている。多岐に渡る福祉課題について、市保健福祉総合計画との整合性を図りながら、効果的に推進する必要があり、同協議会の今後の取り組みを注視してまいりたい。

■悪臭公害対策について

Q 岩手県化成油脂協同組合に対して、市が発令中の改善勧告に基づく対策の効果を検証するために実施した、県と市との合同立ち入り検査から把握した内容を伺う。

A 衛生管理の不備や壁がない場所があるなど、県条例に適合していないと疑われる状況が数多く確認された。今までの県の検査で、長年に渡り不適合事案が見落とされてきたと懸念もされる。設置許可者の岩手県において、当該化製場が現時点において事業が許可できる状況にあるのか、しっかりと調査していただくよう要請した。

本舘　憲一　議員

■新花巻図書館の建設地市民説明会での市民の声について

Q 11月10日からの建設候補地比較調査に関する市民の説明会では、参加した大方の市民の意見は、駅前よりも旧総合花巻病院跡地を望む声が多かった。市の受け止め方を伺う。

A ご意見をいただいた方の声は病院跡地の方が多かった。一方で駅前を望む方もいた。この市民説明会は比較調査の結果を説明し、それに対する疑問点をお聞きし答える内容となっている。行政としては、どちらが多い少ないという評価をするものではなかったと捉えている。

■新花巻図書館の建設地市有地とするとの議会意見について――

Q 市有地とは旧総合花巻病院跡地を指すものと解釈するが、議会の総意である建設用地は市有地とすることに対する市の見解を伺う。

A 花巻駅周辺に適切な市有地がない状況において、「市が提案する花巻駅周辺およびまなび学園周辺のいずれか」とされていた。

このことから、市が想定していた花巻駅周辺のJR所有地を図書館建設場所として土地を購入し、市有地としたうえで当該土地に図書館を建設することについては否定されないと考えてきた。

伊藤　盛幸　議員

■新花巻図書館の整備について

Q 市民会議では候補地を決める意見集約はしないと説明していた。それならば意見をどう反映させるのか伺う。

A 市民同士でそれぞれの候補地のメリット、デメリットを話し合い、デメリットについては何らかの形で解決することができないかどうか話し合っていただく。そのうえで、どちらの場所がいいかについて意見集約を図っていただきたいと考えている。

説明が言葉足らずであったとすれば大変遺憾であり深謝する。

■生涯学習の位置づけについて

Q 市長部局で補助執行する社会教育、これを含む生涯学習を次期教育振興基本計画に盛り込むのは妥当か伺う。

A 国が策定した第4期教育振興基本計画は、社会教育を含む生涯学習も対象とした計画となっており、本市の次期計画も同様にしたいと考えている。

照井　省三　議員

■委託先事業所の悪質な法違反への対応について

Q 市が委託契約している事業所におけるパワハラ・退職要求など、悪質な事業所への対応について伺う。

A 委託事業所における労働条件の調査ではパワハラについては対象としていなかった。

パワハラなど悪質な違反への対応については、違反の内容が悪質なものかなどにより判断することとしている。明確なものは手引きにも定めていないが、他市の状況を見ると契約の解除やペナルティーを科している。

■夜間の人工透析患者の現状について

Q 小原クリニックは令和7年3月で夜間透析を中止する。働きながら透析をしている方は不安を覚えている。市は承知していたか伺う。

A 市内では小原クリニックが夜間透析していることは押さえている。令和7年3月いっぱいで夜間透析を中止することについては承知していなかった。

現在、中部医療圏の中で夜間透析を実施しているのは、北上市の北上済生会病院と日高見中央クリニックの2カ所と承知している。

久保田彰孝　議員

■ふるさと納税について

Q 花巻市の令和5年度のふるさと納税の寄附額と寄附額が伸びた要因について伺う。

A ふるさと納税の寄附額は90億3427万309円。寄附額は県内市町村で1番、東北では2番、全国では13番となっており、全国の皆様から本市のまちづくりのために沢山の寄附をいただいている。

寄附額・件数が伸びた要因は、ふるさと納税ポータルサイトに約1400品目の豊富な返礼品を掲載し、寄附者のニーズを捉え、返礼品の定期便化や数量を変えバリエーションを増やすなど選びやすいよう工夫している。

本市においては、牛タン、白金豚、ワイン、飲料製品、温泉宿泊券などの人気の返礼品があり、返礼品提供事業者の皆様には、その人気の返礼品を切れ目なく提供していただいていることが大きな要因と捉えている。このほか、令和5年10月の制度改正により、募集に要する費用の対象が拡大したことで、9月に全国的な駆け込み寄附が発生したこと、ふるさと納税市場が令和5年度に初めて1兆円を超えて拡大していることも要因である。

盛岡　耕市　議員

■イトーヨーカドー花巻店撤退における対応について

Q イトーヨーカドー花巻店撤退における店舗および周辺施設、近隣の商店街振興組合との対応について伺う。

A 令和7年1月26日に閉店、その後食品スーパーロピアがシーナシーナ花巻として、2階テナントは翌月、スーパーは初夏開業予定となっている。市の情報発信センターの継続開設をお願いしているが、売り場の配置計画もあり検討中とのこと。また、地域貢献を前向きに考えており、地元商店街振興組合と話し合いの機会を設けるとのこと。

■後川の内水氾濫対策について

Q 2年続けて床下浸水が発生している後川の愛宕町地区内水氾濫の対策と、旧瀬川との合流点における堆積物のしゅんせつ(※)について伺う。

A 今年度雄山寺付近のしゅんせつを行う。来年度は浸水多発地域の被災状況要因分析と、現地詳細調査を実施、浸水対策を検討する。

合流点から北上川までは県の管理区間であり、鳥谷ヶ崎公園付近は今年度中に、合流点付近は令和7年度以降にしゅんせつを実施する予定。

※しゅんせつ：海や川、貯水池等の水底の土砂を掘り取ること。